



文化財保護委員

VOL.14

みんなて  
護ろう文化財

「阿蘇の農耕祭事 No.3」

委員 嘉悦 渉

秋は農作物が豊かに実る時期です。阿蘇神社・国造神社では、稲穂を供え秋の実りを喜び感謝する神事が行われます。

今月は、秋の祭事を中心に紹介します。



柄漏流神事

柄漏流神事(阿蘇神社) 8月6日  
眠り流し(国造神社) 8月6日

踏歌節会(田歌の歌い始め)に  
対し、この神事は田歌の歌い納めで、  
来年まで歌うことが禁じられます。  
現在では、見物人も見かけませんが、  
夏のにぎやかなおんだ祭りの田歌  
と違い、夜更けの静かな町の中を  
しみじみと流していく田歌は心に  
響くものがあります。

阿蘇神社の柄漏流神事は、夕刻  
に田鶴原神社で神事があり、駕輿  
丁が田歌を歌いながら阿蘇神社へ  
向かいます。

楼門前で待機している駕輿丁と  
合流し、神紋入りの高張提灯を先  
頭に、宮司宅へ出発します。宮司  
宅では田歌が歌われ、終わると阿  
蘇神社へ上町へ仲町へ下町と歌い  
流し、折り返してきます。

沿道の家々では、「流しの前に眠  
ると、遠いところへ流される」と  
伝えられ、子どもたちは眠いのを  
我慢して駕輿丁をお迎えし、折り  
返してきた駕輿丁をお見送りした  
ものです。最後に、阿蘇神社拝殿  
で田歌を歌い納めます。

国造神社でも同様に、各地区か  
ら駕輿丁が田歌を流して宮司宅に  
集まり田歌が歌われます。終わると、  
国造神社へ向かい、拝殿で歌い納  
めとなります。

また、富山県の八尾地区に伝わ  
る「おわら節」と眠り流しは、流  
しの音楽の最高峰で双壁となすも  
のと民俗学者は評価しています。

田の実祭 (国造神社) 9月23日・24日  
(阿蘇神社) 9月25日・26日

阿蘇神社では、豊穣にふさわし  
い神酒・稲穂・鏡餅・海魚・赤飯・  
野菜等が代わる代わる供えられ、  
拝殿で神事が行われます。その後、  
神慮を慰めるため「願の相撲」が  
行われ、その年のおんだ祭りの駕  
輿丁14名が紅白に分かれて技を競  
い合います。

「願の相撲」が終わると、楼門前  
の参道(130m)で「流鏝馬」  
が行われます。阿蘇清峰高校馬術  
部OBが射手となり、馬10頭が参  
道を駆け抜けます。的は3カ所あり、  
順に小さくなります。烏帽子・直垂・  
袴・行膝の騎馬姿で的に向かって  
矢を放ち、矢が当たると五色の紙  
吹雪が舞い、見物人から歓声が上  
がります。

最後に、射手が見物人に向かっ  
て破魔矢を投げると、人々は競っ  
てこれを拾います。使われた矢は、  
田畑の虫除け・火難除け・家内安  
全のお守りとして尊ばれています。



田の実祭の流鏝馬

なお、26日は翌日祭に合わせ金婚  
奉告祭が行われます。

国造神社でも同様の神事が行わ  
れた後、子ども相撲大会が行われ、  
はじめの三番を「願の相撲」と呼  
んでいます。

どんな小さな「マチ」や「ムラ」  
にも、先人が暮らしの中に生み出し、  
培い、育ててきた多くの祭事や行  
事があり、それは一つの尊い文化  
です。

私たちは、それを大事に伝承し、  
きちんと護り次の世代へ伝えたい  
ものです。